

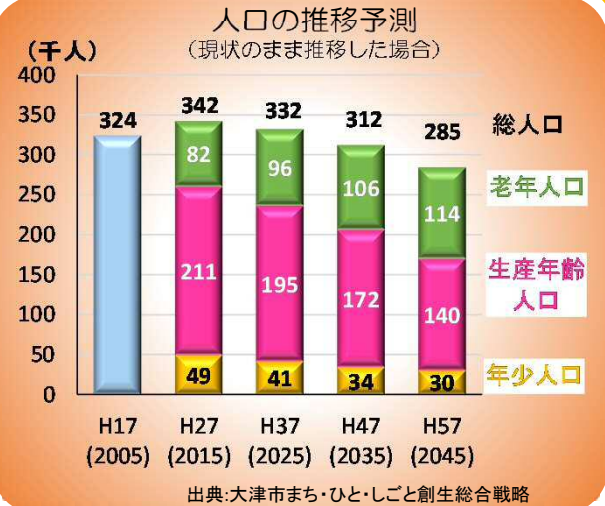
大津市行政改革プラン2017 概要

現状と課題

- 時代の流れ
- 社会状況の激しい変化
人口減少、少子高齢化、高度情報化、グローバル化など



- 市の内外の環境が複雑化・多様化する中で予想される状況
人口減少による税収の減少・社会保障費の増加、公共施設の老朽化による財政の逼迫、人口構造の変化による市民ニーズの多様化



対応方針

『総合計画』

まちづくりの基本理念

- ①持続可能な都市経営 ②共助社会の確立 ③自然、歴史、文化の保全、再生、活用

将来都市像

ひと、自然、歴史の縁で織りなす
住み続けたいまち“大津再生”

～コンパクトで持続可能なまちへの変革～

まちづくりの姿勢

- ①コンパクトで持続可能なまちづくり
- ②「ひとの縁」による共助と「まち」の魅力の共有、発信

整合

『まち・ひと・しごと創生総合戦略』

人口減少に歯止めをかける
持続可能なまちの再構築

下支え

行政改革大綱

【目標】 総合計画に掲げる将来都市像である「ひと、自然、歴史の縁で織りなす住み続けたいまち “大津再生”」を実現するため『徹底した行財政改革によるコンパクトで持続可能な都市経営の実践』を目標とし、さらなる行財政改革を推進する

【目指すべき方向性】 行政がなすべき本来の役割の追求によるコンパクトな市役所を目指す
健全な財政経営と効率的・効果的な行政経営を実現するため、「小さな政府」の理念の下、行政の本来の役割を追求し、事業の選択と集中を推進する一方で、民間の活力が期待できる事業は可能な限り任せることで、コンパクトで持続可能な市役所を目指す。

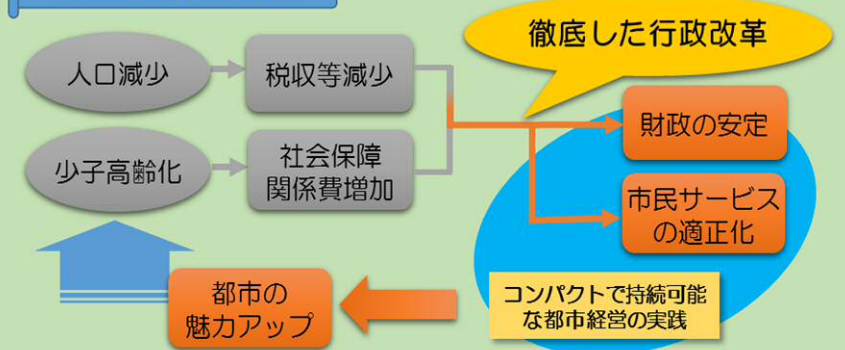
【取組】 12の主な取組の下、個別45の取組項目があります。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ★事業の見直し・廃止 (2) | 財政の健全化 (4) |
| ★効率的な執行体制の構築 (2) | 行政経費の適正化 (3) |
| ★総人件費改革の推進 (4) | 受益と負担の適正化 (2) |
| ★民間活力の利用 (5) | 自主財源の確保 (4) |
| ★規制改革 (2) | 行政運営の効率化 (6) |
| ★公共施設マネジメントの推進 (6) | 地方公営企業会計等の経営改革 (5) |

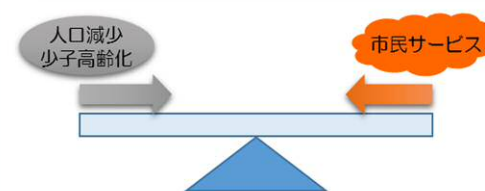
★印は、『重点項目』 ()内の数字は取組項目件数

【取組の実行】 PDCAサイクルの徹底 ●目標達成度の見える化 (数値化) ●評価を通じた見直しによる効果的・効率的な事業執行 など

行政改革の役割



コンパクトで持続可能な都市経営の実践とは？



真に必要なサービスを提供するには、市民サービスを減らすことなども含めサービスの適正化を図る検討が必要です。また、市民サービスのあり方を工夫することで、健全なバランスを維持します。

行政改革プラン2017

取組期間 平成29年度～平成32年度

改革実行プラン